

ジュニア賞

ちょこっと先生

伊藤 陽菜 (高校2年生:東京都)

日本では中学校までが義務教育ですが、何らかの理由で学校に行けない子供達が世界中にいます。教育格差は経済格差、貧困へと繋がります。

また、勉強をしていく中で分からない問題が出てきて困っている子達も沢山います。

私も数学で分からない問題があった時に家族も全員分からなくて困った経験が何度もあります。

そんな子達に向けて私は学習支援ゲーム『ちょこっと先生』を提案します。

『ちょこっと先生』は学ぶ楽しさと教える楽しさの両方を体験出来るゲームです。

ゲーム内には料理や勉強学習、裁縫、図工など様々なジャンルがありさらに国語、数学、理科というように細かく分類されています。

單元ごとに映像授業や参考資料があり、それらの教材を無料で視聴することが出来ます。そしてコメント欄に不明なところを質問すると先生がより分かりやすく解説してくれます。

先生は誰でもなることが出来ます。普段は質問する側でも自分の得意分野の時は先生となって教えることもあるでしょう。プレイヤーはこの質問なら答えられそうだなと思った質問に先生として回答します。途中から分からない場合は、出来るとこまで教えて助っ人として他の先生に呼びかけます。

質問者は理解したら感謝の気持ちとしてバッジを先生に送ります。

貰ったバッジの枚数によって先生のランクが上がっていきます。そして毎月の月末にバッジの枚数のランキングが発表されます。

このゲームの良さは知りたいことを知れるというだけではありません。

このゲームで自分も知らなかった長所を発見できるかもしれません。自分の得意を人の為に発揮し、感謝されることで自信が持てるようになります。また、ゲーム内の豊富なジャンルの『学び』で世界の広さを実感することが出来ます。興味、関心を持つ範囲が広がり自分の未来の可能性も広がります。学校に行くきっかけになったり職業選びのきっかけになったりもするまさに夢のゲームです。